

2 教育普及活動

2-1 講座・ワークショップなど

シンポジウム、対談、講座等

企画展や美術館に関わるシンポジウムや外部講師を招いての対談、講演会

日時	タイトル	講師	関連事業	人数 (定員)
4/21(日) 15:00~16:00	担当学芸員によるトーク	西山恒彦(担当学芸員)	クロスアート4 ビロンギング ー新しい場所と手にしたものー	19 (ー)
7/6(土) 13:30~15:00	クロストーク	神戸智行(作家) 西高辻信宏(太宰府天満宮 宮司)	菅原道真公1125年 太宰府天満宮 式年大祭記念 神戸智行一千年を 描くー	134 (170)
7/27(土) 13:30~15:00	美術講座「Kami is in the details 神は細部に宿るー神戸作品の魅力」	青山訓子(学芸課長)	菅原道真公1125年 太宰府天満宮 式年大祭記念 神戸智行一千年を 描くー	37 (170)
9/27(金) 13:00~18:00	ルドン×アートまるケット 「日比野克彦ライブペインティング avec ルドン/脳はダメしても身体は ダメされない #03」	日比野克彦(館長)	PARALLEL MODE:オディロン・ルドン ー光の夢、影の輝きー アートまるケット 「つなぐ人 日比野克彦」	96 (ー)
9/28(土) 11:00~18:00	ルドン×アートまるケット 「日比野克彦ライブペインティング avec ルドン/脳はダメしても身体は ダメされない #03」	日比野克彦(館長)	PARALLEL MODE:オディロン・ルドン ー光の夢、影の輝きー アートまるケット 「つなぐ人 日比野克彦」	283 (ー)
10/6(日) 15:00~18:00	ルドン×アートまるケット 「日比野克彦ライブペインティング avec ルドン/脳はダメしても身体は ダメされない #03」	日比野克彦(館長)	PARALLEL MODE:オディロン・ルドン ー光の夢、影の輝きー アートまるケット 「つなぐ人 日比野克彦」	71 (ー)
10/20(日) 14:00~15:30	記念講演会1 「山本芳翠とフランス」	三浦篤(山本芳翠展監修者、大原美 術館館長、東京大学名誉教授)	PARALLEL MODE:山本芳翠 ー多彩なるヴィジュアル・イメージー	117 (170)
10/27(日) 14:00~15:30	記念講演会2 「オディロン・ルドンーメドックの光の中で」	高橋明也(オディロン・ルドン展監修 者、美術史家、東京都美術館館長)	PARALLEL MODE:オディロン・ルドン ー光の夢、影の輝きー	103 (170)
11/3(日・祝) 10:00~12:00	ルドン×アートまるケット 「日比野克彦ライブペインティング avec ルドン/脳はダメしても身体は ダメされない #03」	日比野克彦(館長)	PARALLEL MODE:オディロン・ルドン ー光の夢、影の輝きー アートまるケット 「つなぐ人 日比野克彦」	359 (ー)
11/3(日・祝) 13:00~15:00	～ながラー鳥瞰図 vol.4	日比野克彦(館長) 山下樹里(長野県立美術館学芸専門員) 近藤乃梨子(こと!こと?かわさき プ ロジェクトマネージャー) 小野寺伸二(アート・コミュニケー ション推進機構代表理事) 加納稔(湊カラー2期)	ー	38 (170)
11/3(日・祝) 15:30~16:30	記念講演会3 「ルドンさんに会ってきました」	日比野克彦(館長)	アートまるケット 「つなぐ人 日比野克彦」	329 (ー)
11/10(日) 15:00~16:30	記念講演4 「山本芳翠と皇室、宮内省」	田中純一郎 (皇居三の丸尚蔵館研究員)	PARALLEL MODE:山本芳翠 ー多彩なるヴィジュアル・イメージー	89 (170)

日時	タイトル	講師	関連事業	人数 (定員)
11/17(日) 14:00~15:00	美術講座1「オディロン・ルドンと日本」	松岡未紗(担当学芸員)	PARALLEL MODE:オディロン・ルドン ー光の夢、影の輝きー	101 (170)
12/8(日) 15:00~16:00	美術講座2「山本芳翠とその時代」	廣江泰孝(担当主幹兼学芸係長)	PARALLEL MODE:山本芳翠 ー多彩なるヴィジュアル・イメージー	157 (170)
1/23(木) 15:30~17:00	アーティストトーク	坂茂(作家)	第12回円空大賞展	101 (ー)
1/25(土) 13:30~15:30	アーティストトーク	Yee I-Lann (作家)	第12回円空大賞展	31 (ー)
2/22(水) 14:00~15:00	アーティストトーク	吉田喜彦(作家)	第12回円空大賞展	45 (ー)
3/8(土) 14:00~15:30	アーティストトーク	クワクポリョウタ (アーティスト、IAMAS教授) 大久保美紀(IAMAS准教授) 鳥羽都子(担当学芸員)	IAMAS ARTIST FILE#10 繭/COCOON:技術から思考する エコロジー	50 (ー)
3/9(日) 14:00~14:30	公開制作	池内晶子(作家)	第12回円空大賞展	88 (ー)

作品鑑賞会

展覧会場で担当学芸員や関係者が行う作品解説、ギャラリートーク

日時	タイトル	講師	関連展	人数 (定員)
7/19(金) 18:30~19:00	ギャラリートーク	青山訓子(学芸課長)	菅原道真公1125年 太宰府天満宮 式年大祭記念 神戸智行一千年を 描くー	14 (ー)
8/16(金) 18:30~19:00	ギャラリートーク	青山訓子(学芸課長)	菅原道真公1125年 太宰府天満宮 式年大祭記念 神戸智行一千年を 描くー	32 (ー)
10/18(金) 18:00~18:45	ギャラリートーク	廣江泰孝(担当主幹兼学芸係長)	PARALLEL MODE:山本芳翠 ー多彩なるヴィジュアル・イメージー	31 (ー)
10/26(土) 13:30~14:30	アーティストトーク	札本彩子(作家)	AiM Vol.16 札本彩子	27 (40)
11/15(金) 18:00~18:45	ギャラリートーク	松岡未紗(担当学芸員)	PARALLEL MODE:オディロン・ルドン ー光の夢、影の輝きー	49 (ー)
1/11(土) 14:00~15:30	ギャラリートーク	鳥羽都子(担当学芸員) ジャン＝ルイ・ボワシエ(作家) クワクポリョウタ(作家) florian gadenne+miki okubo (作家) 石橋友也(作家)	IAMAS ARTIST FILE#10 繭/COCOON:技術から思考する エコロジー	63 (ー)

日時	タイトル	講師	関連展	人数 (定員)
1/17(金) 18:30～19:00	ギャラリートーク	鳥羽都子(担当学芸員)	IAMAS ARTIST FILE#10 繭/COCOON:技術から思考する (一) エコロジー	6 (一)
2/21(金) 18:30～19:30	ギャラリートーク	高木永悟(担当者) 山本亜希(担当者)	第12回円空大賞展	24 (一)



▲11月3日 記念講演会3「ルドンさんに行ってきました」



▲11月15日「PARALLEL MODEオーディロン・ルドンー光の夢、影の輝きー」
ギャラリートーク

体験型企画など

日時	タイトル	講師	会場	内容	人数 (定員)
8/10(土) 11:00～16:00	日本画ワークショップ	神戸智行(日本画家)	スタジオ	企画展会場での鑑賞体験をふまえて、オリジナルの掛け紙を日本画の画材を用いて制作した。	20 (20)
11/9(土) 13:30～15:30	ワークショップ 「鮎菓子で“モシャス”！」	札本彩子(作家)	アトリエ	採集した石や枝を鮎菓子に見立て、変容させることで、作家の制作を追体験した。	19 (15)
11/30(土) 10:00～12:00 13:00～15:00	GIFUワークショップ ギャザリング Vol.10	岐阜大学 東海学院大学短期大学部	美術館ホール 多目的ホール ショップ横 スタジオ アトリエ	「いらっしゃいませ レストラン」「ぺったん ワールド」「オリジナルフェイスバッグ」「スペシャルハンドアート」「キラキラステンドグラス」の体験活動を行った。	392 (一)
12/1(日) 10:00～12:00 13:00～15:00	GIFUワークショップ ギャザリング Vol.10	岐阜聖徳学園大学 中部学院大学 名古屋柳城女子大学	美術館ホール 多目的ホール ショップ横 アトリエ	「かぶって、へんしん!」「自然素材でクリスマスリース作り」「パラバルーンを使ってあそぼう!」「クリスマスウォールアート」の体験活動を行った。	343 (一)



▲11月30日 GIFUワークショップギャザリング Vol.10



▲12月1日 GIFUワークショップギャザリング Vol.10

ナンヤローネ・プロジェクト

2016年度より開始した展覧会や作品、ワークショップ、鑑賞プログラム、ミュージアムショップなど、館のすべてのものを通して、人と人、アートと人が触れ合える場を創造するプロジェクト。2019年度末から感染症拡大予防措置に努めつつ教育普及事業を見直し「ナンヤローネアートツアー」「ナンヤローネアートアクション」をすすめてきた。加えて2021年度は「ナンヤローネプロジェクト@オンライン」としてオンライン会議ツールやSNSを活用したイベントを実施してきた。2022年度からは《Such Such Such》の常設展示を再開し、本プロジェクトの充実を図ってきた。

ナンヤローネアートアクション

展覧会や作品の技法、色、作家のコンセプト、庭園や展示室そのものなどをテーマに、気軽にアートを楽しむことをねらったワークショップ。すべての人を対象に実施し、いつでも参加できる。

日時	タイトル	会場	概要	関連展	人数 (定員)
5/5(日・祝) 10:30~14:30	横山奈美ワークショップ 「誰かの線を描く」	多目的ホール 展示室	講師の作品についての解説および鑑賞後にりんごを描いた。その後、他者が描いた作品を模写し、自分にはない見方や描き方に気付いた。	クロスアート4 ビロンギングー新しい居場所と手にしたものー	19 (20)
7/15(月・祝) 10:00~12:00 13:30~15:30	心のつながりを結うー組紐ー	多目的ホール	所鳳弘氏を講師に招き、組紐の製作を行うとともに、日本の伝統文化と国際交流についての見識を深めた。	ー	95 (60)
9/8(日) 14:00~15:30	季節の移ろい ～四季を味わう	多目的ホール 展示室	「神戸智行一千年を描くー」展を鑑賞し、心惹かれた季節の和菓子を粘土で制作し、季節感を味わった。	菅原道真公1125年 太宰府天満宮式年大祭記念 神戸智行一千年を描くー	20 (20)
2/2(日) 13:30~15:30	「交感」…自然とつながろう	アトリエ	展示作品を鑑賞し、「交感」を体験した。その後、庭園にある自然物がもつ色をつくり出し、「交感」が生まれるよう自然物と組み合わせ撮影し、作品をつくり出した。	特集：小本章	22 (20)



▲5月5日 アートアクション「横山奈美ワークショップ 誰かの線を描く」



▲7月15日 アートアクション「心のつながりを結うー組紐ー」

ナンヤローネアートツアー

美術の知識に頼らない鑑賞プログラム。作品を見て何かを感じている自分を物（コネクター）に置き換え表現する日比野克彦のアートコミュニケーション作品《Such Such Such》の手法を取り入れて行う。

日時	会場	対象展示	対象作品	人数 (定員)
4/21(日) 13:30～15:00	多目的ホール 展示室	クロスアート4 ビロンギンゲー新しい 居場所と手にしたものー	・松山智一《ノスタルジー・リマインダー》 ・後藤映則《Crossing #03》 ・公花《鼓舞の舞》 ・山内祥太《カオ1_Waterfall》 ・横山奈美 《Shape of Your Words[in Gifu .2023.10.14-10.25]》	20 (20)
5/19(日) 14:00～15:30	多目的ホール 展示室	線・面・痕跡ー安藤基金コレクション:20 世紀の美術から	・元永定正《せんとあかいろのかたち》 ・猪熊弦一郎《スクエア・イン・ザ・ウォーター》 ・白髪一雄《地魔星雲裏金剛》	11 (20)
6/16(日) 14:00～15:30	多目的ホール 展示室	・ぎふの日本画 おいしかったよ すばらし い鮎だ 書簡に見る画家と岐阜の人々の 交流 ・西洋美術コレクション:パブロ・ピカソ を中心に ・象るー彫刻コレクションから	・川合玉堂《駒ヶ嶽》 ・パブロ・ピカソ《バッカス祭》 ・ジョルジュ・ブラック《緑の円卓》 ・伊藤公象《多軟面体シリーズー白い群生物ー》 ・ジュリアーノ・ヴァンジ《子供をつれた男 No.2》	16 (20)
8/4(日) 14:00～15:30	多目的ホール 展示室	菅原道真公1125年 太宰府天満宮式年大 祭記念 神戸智行ー千年を描くー	・神戸智行 《芽吹く命-春-》 《輝く命-夏-》 《繋ぐ命-秋》 《託した命》 《一瞬の永遠》 《千年後の未来》	13 (20)

日時	会場	対象展示	対象作品	人数 (定員)
10/13(日) 14:00~15:30	多目的ホール 展示室	PARALLEL MODE:山本芳翠 ー多彩なるヴィジュアル・イメージー	・山本芳翠 《勾当内侍月詠之図》 《裸婦》 《月下の裸婦》 《ハブ、鳥と闘う》 《磐梯山破裂之図》 《秋の奥日光》 《十二支子「少女の書見」》 《十二支未「蘇武北秋に流罪」》 《十二支戌「祇王」》	10 (12)
11/24(日) 14:00~15:30	多目的ホール 展示室	PARALLEL MODE:オディロン・ルドン ー光の夢、影の輝きー	・オディロン・ルドン 《『夢の中で』 VIII. 幻視》 《聖セバステアヌス》 《窓》	13 (12)
1/19(日) 14:00~15:30	多目的ホール 展示室	IAMAS ARTIST FILE # 10 繭/COCOON:技術から思考するエコロ ジー	・florian gadenne + miki okubo 《L'Arbre-Monde》 ・西脇直毅《赤色のへびと猫》 ・石橋友也、新倉健人、吉田竜二 《パベルのランドスケープ》	21 (20)
2/16(日) 14:00~15:30	多目的ホール 展示室	第12回円空大賞展	・鴻池朋子作品 ・Yee I-Lann 作品 ・池内晶子作品 ・吉田喜彦作品 ・円空仏	18 (20)



▲6月16日 アートツアー
「ぎふの日本画 おいしかったよ すばらしい鮎だ 書簡に見る画家と岐阜の人々の交流」
「西洋美術コレクション:パブロ・ピカソを中心に」
「象るー彫刻コレクションから」



▲10月13日 アートツアー
「PARALLEL MODE:山本芳翠 ー多彩なるヴィジュアル・イメージー」

《Such Such Such (あんな そんな こんな)》

「作品を見て何かを感じている自分」をもの（コネクター）に置き換えて表現する、日比野克彦による体験型のアートコミュニケーション作品。

日時	会場	対象作品	関連展	人数
7/6(土)～ 9/8(日)	美術館ホール	・アリストイド・マイヨール《地中海》 ・熊谷守一 《迎臥裸婦》《臥裸婦》《裸婦のついた灰皿》 ・田中忠雄《馬太受難曲》	—	422
1/24(金)～ 3/9(日)	美術館ホール	・ヴァレリアーノ・トルッピアーニ《錨を上げる》 ・ミケランジェロ《ピエタ 模刻》 ・ジャコモ・マンズー《大きな枢機卿》	—	263

2-2 アートコミュニケーションプロジェクト

岐阜県美術館がめざす基本理念「美とふれあい、美と会話し、美を楽しむ」の実現にむけて、共に活動するのがアートコミュニケーター(愛称：～ながラー)である。アートから生まれるコミュニケーションを大切に、岐阜に生きる人やテーマと結びつきながら、美術館を拠点に人と人、人と作品、人と文化をつなぐ活動に取り組む。

5期をむかえ、今年度は、期を越えての活動が活発化した。また、3年の任期を満了する3期を「湊カラー」として送り出す「湊カラー出港式」を開催した。

～ながラーの構成

3期12名、4期19名が活動を継続。5期には38名の応募があり、書類審査、面接を経た29名を加え、3～5期で計60名となった。主な居住地区は県内(岐阜圏域、西濃圏域、中濃圏域、東濃圏域)で、他県(愛知県、三重県、東京都、群馬県、福島県、静岡県)在住者も活動している。

年齢分布は10代1名、20代9名、30代11名、40代8名、50代21名、60代10名。

主な年間スケジュール

通年	: 舟の活動(「～ながラー」自主企画)
4～7月	: 基礎ゼミ(全8回)
9～2月	: 実践ゼミ(全7回)
11/1(金)～1/10(金)	: 6期応募受付(消印有効)
11/3(日)	: アートコミュニケーター6期募集イベント「～ながラー鳥瞰図Vol.4」 「～ながラー」と美術館スタッフによる活動報告、日比野克彦(館長)・山下樹里(長野県立美術館学芸専門員)・近藤乃梨子(こと!こと?かわさきプロジェクトマネージャー/東京藝術大学 芸術未来研究場 ケア&コミュニケーション領域 共創拠点推進機構 特任研究員)・小野寺伸二(アート・コミュニケータ東京事務局代表/アート・コミュニケーション推進機構代表理事)・加納稔(湊カラー 2期/清流の国ぎふ 文化祭2024文化リンクワーカー/中央工機代表取締役)によるクロストーク
3/22(土)	: 「湊カラー出港式」3期任期満了に伴う修了式及びアートコミュニケーター「湊カラー」に任命(9名)

活動参加人数(対面・オンラインを含む)

・美術館主催(基礎ゼミ・実践ゼミ・展覧会勉強会)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回	5	3	2	4	0	5	9	6	4	4	2	2	46
人数	92	64	56	58	0	85	43	53	24	33	41	45	594

・「～ながラー」による自主活動(この舟のろう方式)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回	13	11	17	12	9	12	14	17	12	8	6	5	136
人数	51	74	100	92	41	86	96	86	77	64	32	32	831

活動参加人数合計のべ1,425人

基礎ゼミ

活動を始める準備としてアートの役割やコミュニケーションについての理解を深めた。

回	開催日	タイトル	講師	人数
1	4/13(土)	「～ながラー」のみなさん、ようこそ岐阜県美術館へ、岐阜県美術館を知る	青山訓子(学芸課長)	44
2	4/27(土)	美術館×作品×来館者×アートコミュニケーター	稲庭彩和子(国立アートリサーチセンター主任研究員)	33
3	5/11(土)	ミュージアムの特性を活かした活動とは?	伊藤達矢(東京藝術大学 社会連携センター 教授/副センター長)	32
4	5/25(土)	きく力	西村佳哲(リビングワールド代表)	30
5	6/8(土)	障害とはなにか、差別とはなにか	川島聡(放送大学教授)	26
6	6/23(日)	会議が変われば社会が変わる	青木将幸(青木将幸ファシリテーター事務所代表)	30
7	7/6(土)	なぜ、芸術鑑賞に対話が必要なのか	会田大也(ミュージアムエデュケーター/山口情報芸術センター学芸普及課長)	21
8	7/20(土)	舟の進め方	濱野かほる(教育普及係)	28

実践ゼミ

基礎ゼミを終えた「～ながラー」の学びをより深め、舟の活動で何ができるか、取り組みたい課題を考えるための実践ゼミを実施した。

開催日	内容	講師	人数
9/7(土)	オリエンテーション、だれもが集まれる、だれもが楽しめる美術館を考える	柴崎由美子(エイブル・アート・ジャパン代表理事/事務局長)	24
9/21(土)	楽しい体験の提供とはどんなものかを考える	会田大也(ミュージアム・エデュケーター/山口情報芸術センター学芸普及課長)	24
10/20(日)	地域の資源と歴史と未来を考える	辻晃一(丸重製紙企業組合代表理事) 家田陽介(教育普及係)	19
11/16(土)	舟をつくる相談会/各舟ミーティング	濱野かほる 近藤優紀 藤田響(教育普及係)	15
12/7(土)、1/12(日)	進捗報告会	濱野かほる 近藤優紀 藤田響(教育普及係)	42
2/2(日)	ふりかえり	濱野かほる 近藤優紀 藤田響(教育普及係)	26

「この舟のろう方式」から生まれた活動

「この舟のろう方式」とは、「～ながラー」たちが自発的に開催する、新しいプロジェクトの検討と発信を行う活動である。共通のテーマやアイデアを持ち寄り、3人以上のメンバーが集まったら、企画の実現に向けて話し合いを進めていく。予め「終わり方」のデザインをしておき、結成と解散を繰り返しながら、様々な自主活動に取り組んでいく。

タイトル	舟の名称・内容	関連展 (展覧会タイトル一部短縮表記)	開催日	人数	
				～ながラー	参加者
楽しいよ♪びじゅつかん 絵本のよみきかせと ちょこっとアート	「こぐまのこぐ丸」 絵本や紙芝居の読み聞かせ をした後、館内で作品鑑賞 会を行った。	・第5回ぎふ美術展	6/13(木)、7/28(日)、 8/22(木)	7	41
アートでゆる～く おしゃべり♪	「おしゃべり鑑賞丸」 「～ながラー」がファシリテ ーターとなり、対話型鑑賞 活動を行った。	・象一彫刻コレクションから ・ここではない どこかへ 美術にみる「理 想郷」 ・PARALLEL MODE : 山本芳翠 ・PARALLEL MODE: オディロン・ルドン ・アートまるケット「つなぐ人 日比野克彦」 ・特集: 小本章 ・特集: フランス19世紀版画 ・イメージとイリュージョンー田口コレクシ ョンから ・こいつぁ春から縁起がいいわえ	7/13(土)、8/14(水)、 10/26(土)、11/9(土)、 1/18(土)、1/26(日)	12	53
明後日朝顔キングオブ タネ 明後日朝顔プロジェクト 「ながら」収穫祭	「明後日朝顔丸」 キングオブタネを選ぶイベ ント、リースをつくるワーク ショップを行った。	—	7/15(月・祝)、 11/23(土・祝)	24	24
「流し」の鑑賞フレンド	「「流し」の鑑賞フレンド丸」 作品を観て感じたことに寄 り添い、聴く活動を行った。	・象一彫刻コレクションから ・ここではない どこかへ 美術にみる「理 想郷」 ・神戸智行一千年を描くー ・PARALLEL MODE : 山本芳翠 ・PARALLEL MODE: オディロン・ルドン ・特集: 小本章 ・特集: フランス19世紀版画 ・イメージとイリュージョンー田口コレクシ ョンから ・こいつぁ春から縁起がいいわえ	7/28(日)、8/4(日)、 8/11(日・祝)、 8/22(木)、10/6(日)、 11/23(土)、11/24(日)、 12/8(日)、1/13(月・祝)	5	139

タイトル	舟の名称・内容	関連展 (展覧会タイトル一部短縮表記)	開催日	人数	
				~ながら	参加者
こよみのよぶね 干支行灯和紙貼り/こ よみっけ!	「こよみのよぶね丸」 干支の行灯に和紙貼り等 するワークショップを行っ た。	—	12/1(日)、12/7(土)、 12/8(日)	17	180
アートをなきごえで楽 しもう!	「ホモ・サピエンスの鳴き声 丸」 感じたことを擬音語などで 表現する活動を行った。	・アートまるケット「つなぐ人 日比野克彦」	12/7(土)	7	15
しろく丸とびじゅつか んをたのしもう! 絵本 のよみきかせとアート たいけん	「こぐまのしろく丸」 絵本や紙芝居の読み聞かせ をした後、作品/パネルで対 話型鑑賞会を行った。	—	1/26(日)	9	15



▲10月6日「流し」の鑑賞フレンド



▲12月7日 アートをなきごえで楽しもう!